

# はかた中だより

## 第 11 号

令和4年10月14日

校訓 自らが学ぶ

学校の教育目標

豊かな心を持ち

主体的に行動する生徒の育成

TEL: (0897) 72-1055

FAX (0897) 72-1053

今月、4日(火)～6日(木)まで、令和4年度の今治・越智中学校新人体育大会が開催されました。新チーム結成以来、どの部もこの大会のために練習に励んできました。特に、今年の夏は異常に暑く、熱中症に気を付け、コロナ対策もしながらの練習は、大変だったことと思います。大会では、まだまだ経験不足のため、力を発揮しきれない場面も見られましたが、見るものを引き付ける感動的な試合も見られました。見事今治市内を勝ち抜いて、県大会出場を勝ち取ったチーム・ペア・個人は今回の結果を自信とし、今治市の代表としてさらに練習を重ね、来月12日(土)・13日(日)の県大会に臨んでほしいと思います。残念ながら、悔しい思いをしたチーム・ペア・個人は、今回見つかった課題を克服し、技術的にも精神的にも一回りも二回りも大きく成長してほしいと思います。新人戦はあくまでも通過点、本当の勝負は来年の総合体育大会ですから。

### 1 男女ソフトテニス部の試合

1日目の団体戦では、女子は1回戦敗退、男子は2回戦敗退という結果でしたが、男女とも2年生を中心に、精いっぱい戦っていました。夏休み前と比較して、1年生の成長が目を見ました。2日目の個人戦では、男子1ペアがベスト8、女子1ペアがベスト12にそれぞれ入り、県大会出場を決めました。男子は勢いのある元気いっぱいの練習を、女子はていねいな練習を積み重ねていたからその結果だと思います。県大会での活躍を期待しています。



### 2 軟式野球部の試合



軟式野球部は、大島中、大三島中との3校合同チームで試合を行いました。単独チームと比べると、合同チームは練習において制約が多く難しいことも多かったことと思います。そんな中、3校の選手が息を合わせ、チームワークよく試合を進めていきました。本校の3人の選手は、バッティングや守備に全力で取り組んだり、ボールボー

ーイの仕事を持ってこなしたりするなど、各自に与えられた役割を精いっぱいこなしていて大変立派でした。結果は、1-4と惜敗でした。バッティングの技術を高めるなど、今後の頑張り期待します。

### 3 女子卓球部の試合

1日目の個人戦では、シングルスでベスト8に一人、ベスト16に二人が残りました。ベスト16に残った2人が、県大会出場をかけた敗者復活戦を戦ったのですが、惜しくも敗れてしまいました。県大会に出場するエースには、他の部員の方まで頑張してほしいと思います。2日目は、団体戦の予選リーグ戦で、見事2位となり、3日目の決勝リーグ戦に進出しました。その結果、5位という成績でした。卓球部は、練習試合を通じて、一人一人が確実に力を付けています。各自の課題を克服し、さらにレベルアップをしてくれると信じています。



#### 4 男女バスケット部の試合

男子バスケットボール部は、上級生も下級生もない2年生のみのチームです。大変仲が良く、経験を数多く積み重ねてきました。その結果、見事リーグ優勝の栄冠を勝ち取り県大会出場を決めました。けっして上背はないチームですが、ディフェンスからリズムを作り、思い切った3点シュートやカットインを決めるなど、見事な戦いぶりでした。県大会での活躍を期待しています。



女子バスケットボール部は、1回戦で手に汗握る壮絶な試合を見せてくれました。試合のスコアは77対76でした。試合終了の1.8秒前に、キャプテンが逆転のミドルシュートを決めての劇的な勝利でした。見る者全てを感動させるすばらしい試合でした。そんな彼女たちでしたが、グループ決勝で敗れてしまい、目標にしていた県大会出場は叶いませんでした。試合後流した悔し涙を忘れることなく、日々の練習に全力で取り組んでほしいと思います。総体での雪辱を心から願っています。



#### 家族の絆エッセイの紹介①（400字以内でまとめられたエッセイです。）

生徒たちが書いてくれた家族の絆エッセイを読ませてもらい、感動した作品がたくさんありましたので、紹介します。生徒たちの優しさと豊かな感性が感じられると思います。

題 ありがとう、さようなら。

1年生男子

これは、僕が小学1年生の時に、癌で亡くなったじいちゃんのお話。

「じいちゃん、椅子づくりの続きをしよう！」僕は、いつものようにじいちゃんとのDIYをしていた。知らなかったけれど、このころからもうじいちゃんの癌は進行していたみたい。

ある日、僕が、「じいちゃん、病院に行こう。」と言った。診断は、癌。もうじいちゃんと遊べなくなる…。僕は、胸が痛くなるほど悲しくなった。じいちゃんは、僕が小学1年生になって間もなく息を引き取った。じいちゃんと一緒につくってきた作品だけが残っている。作品には、じいちゃんとの思い出がいっぱい詰まっている。じいちゃんはもう帰ってこないんだ…。

だけど僕は、前に進むしかない。時はもう戻らない。じいちゃんとの思い出、全部楽しかったよ。ありがとう、じいちゃん。僕、頑張るよ。さようなら。

